

令和八年度 つくば国際大学 学校推薦型選抜・社会人選抜入学試験問題
(小論文)

大問1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

腹の具合が少しおかしくなったらしく、出血の見られたのがキツカケだった。

前にも似たようなことは起ったが、その際は一時的な病状であつたらしく、自然におさまった。

今度は少し様子が違うので、長くお世話になっている親しい医師に相談した。

大事をとって調べ、^① タイシヨするべきだろう、との意見を聞き、こちらは二、三日の入院のつもりで、都心にある病院に向った。これまでも幾度か検査入院したことのある病院であるため、慣れているから大丈夫、と ^② 高を括^{くく}っていたところもあつたろう。

週末なので緊急入院の受付に來い、との指示に従って出向き、診察室で幾つかの検査を受けた後、たちまち点滴の管につながれた絶食の患者として病室へ導かれた。

そこで出合ったのは、これまで経験のない ^③ ジタイだった。新型コロナウイルス感染症対策のため、入院棟はナースステーションから先へは患者しかはいれず、付添いや面会人はそこから帰るしかないことになっていたからである。

パジャマや下着の着換えをはじめ、入院生活に必要な品を持って來たのだが、それを点滴のスタンドに腕をつながれた不自由な身で、ベッド周辺のどこかに整理して収めねばならない。これが意外に面倒で難しく、日が経つと忽ち ^④ コンランして、どれが洗濯する下着でどれが新しい衣類かの区別がつかなくなる。

娘が整えてくれた洗面用具のバッグには、やたらにカッコイイ小さな瓶がはいっているのだが、何をどこに塗り、何をどこにつければよいのか、見当がつかない。容器のラベルなどの字は限りなく小さく、並の老眼鏡などかけてもとても読めない。その中に一本へちまコロンと書かれた小瓶をみつけた時は嬉しかった。これはオバアチャンが顔につけていたのを子供の頃に見ていた覚えがあるので、安心して洗顔の後に使うことが出来た。

自分の家に居る暮しが、家族の世話によっていかに助けられていたか、とあらためて感じるが、その親切な人々はナースステーションから先へは一切はいれないのだから仕方がない。新型コロナウイルスの感染者の中には、そのままひとりで遠くへ旅立って行った人もあると聞かされたことなど思い出すと、言葉を失う。

そのうち、ふと気のついたことがある。看護師やその他患者の世話をしに廻って来てくれる人々はもちろん初対面だが、ベッド脇に現われるそういった人々と他愛もな^{たわい}い話を交した後は、なんとなく気分が前より活発になり、普通に暮す人に近づいたような感じが生れている。

考えてみれば、こんなに毎日、^④ミチの若い女性達と言葉を交す^⑤キカイなど滅多にない。どこから病院へ通っているかとか、電車に坐るために何時に家を出るかとか、採血の練習は看護師同士でどんなふうにするのかとか、両親はお元気か、などという対話に、誰もイヤな顔もせずに応じてくれる。短い時間でも、それだけで外部と触れ合えたという感じが生れ自分がベッドの人ではなく、道を歩いたり、電車に乗ったりする町の人でもあるのだ、と感じられるようになる。^⑥小さなことではあるけれど、このささやかな会話が患者である自分の気持ちを地面の上に立たせ、普通の人の顔を持って来てくれたような気がする。

入院している間に、少しでも仕事が出来るか、と原稿用紙と万年筆を持ち込んだが、結局は何も出来なかった。

頭に残ったのは、ナースステーションの前から病室の間をまっすぐに伸びる長い廊下だけだった。

（黒井千次『老いの深み』中央公論新社二〇二四年から一部抜粋）

問 1 傍線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

問 2 傍線部④「高を括^くって」の説明として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 冷淡な態度をとること
- ② 実質よりも価値を高く評価すること
- ③ 人物や物事を軽視したり、見くびること
- ④ 動揺しないように気持ちを引き締めること

問 3 傍線部⑥「小さなこと」について、どのような事柄を示しているか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 家族の世話
- ② お世話になっている親しい医師に相談
- ③ 原稿用紙と万年筆を持ち込んだ
- ④ ささやかな会話

問 4 本文の内容を踏まえ、「入院生活」について、あなた自身の考えを二〇〇字以上四〇〇字以内で述べなさい。

「あんなに元気だった母が、転んだだけであそこまで弱るとは」

2019 年 11 月、B さんは夜中に寝室からトイレへと向かう途中にある 13 段ほどの段差で転倒した。B さんの夫の C さんが同居していたが、就寝中で気づかず、朝になって近くに住んでいた A さんに連絡。顔をゆがませて痛みを訴える B さんを病院へ連れて行くと、腰椎の圧迫骨折と診断された。

Bさんは当時 歳。手術とリハビリの末、何とか歩けるようになったが、つえを手放せなくなった。さらに、数か月の入院中に認知症の兆候が表れ始め、退院後は施設に入らざるを得ない状態に。不運は重なり、まもなく新型コロナウイルス感染症が拡大して家族と面会できなくなると、認知症はますます悪化した。

「②超高齢社会の今、こうした転倒事故がいたるところで起きている」。日本骨粗鬆症学会理事
長で山陰労災病院院長の萩野浩さんは警鐘を鳴らす。

「高齢者の骨折が骨卒中と呼ばれるのは、脳卒中と同様、直接死のリスクだけでなく、その後の日常生活を脅かす危険を大いにはらんでいるからだ」と、萩野さん。死亡リスクは、背骨を折った人で8.6倍、^{だいたい}大腿骨を折った人で6.7倍、折っていない人に比べて高まるとの報告もある。

萩野さんは「骨卒中を防ぐためには、骨折しにくい体作りはもちろん、④転倒しにくい環境作

りが不可欠だ」と強調する。

A さんは、一人暮らしを続ける C さんのために、B さんが転倒した段差に手すりを設置した。「母の健康を過信せず、元気なうちから、転倒対策に取り組むべきだった。できることなら、母が転んだ前の日に時間を戻したい」

(2025 年 4 月 17 日 読売新聞より)

問 1 下線部①について、転倒後歩けるようになり退院したものの、入院前に比べ、どのような体調悪化が現れたか、簡潔に 2 つ挙げなさい。

問 2 下線部②について、(A)こうした高齢者の事故で生じる骨折を本文では何と呼んでいるか、また、(B)それは通常の骨折とどこが違うのか、本文中より 15 字以内で抜き出しなさい。

問 3 下線部③について、この年、都内で、住宅内できろんで救急搬送された高齢者はおよそ何人いたか、整数で答えなさい。計算式も書きなさい。

問 4 下線部④について、本文では「手すり」の例が挙げられているが、高齢者の転倒事故を減らすために、他にどのような配慮ができるか、あなたの考えを 160 字以上 220 字以内で答えなさい。